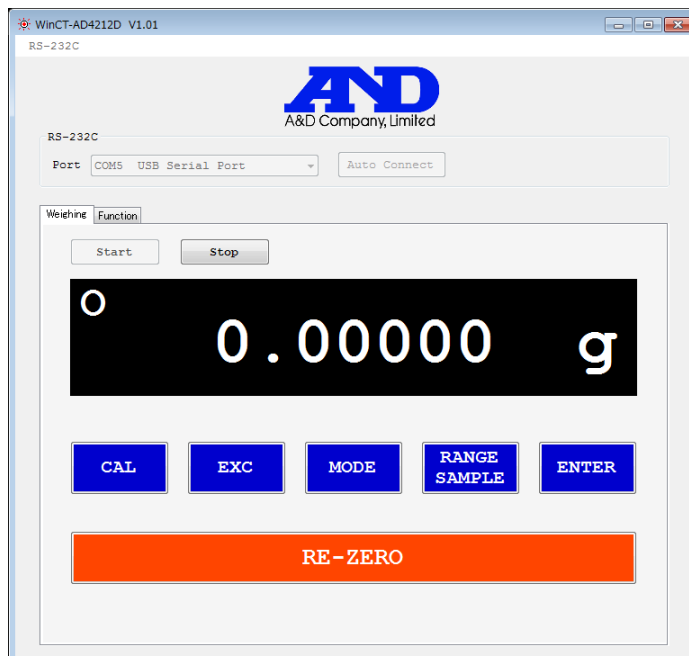

目次

1. 特徴
 2. 接続方法
 3. 起動方法
 4. 操作方法
 5. 各部の説明
-
-

1. 特徴

本ソフトウェアはエー・アンド・デイ製電子天びん AD-4212D シリーズの計量値の表示、ボタンによる天びんの操作、内部設定の変更を行うことができます。



- ・天びんから受信した計量値をリアルタイムに表示します。
- ・リゼロ、キャリブレーションといった一般的な電子天びんに搭載されるキー操作ができます。
- ・天びんから内部設定データを読み出し、一括で変更することができます。

2. 接続方法

2-1. 天びんと PC の接続

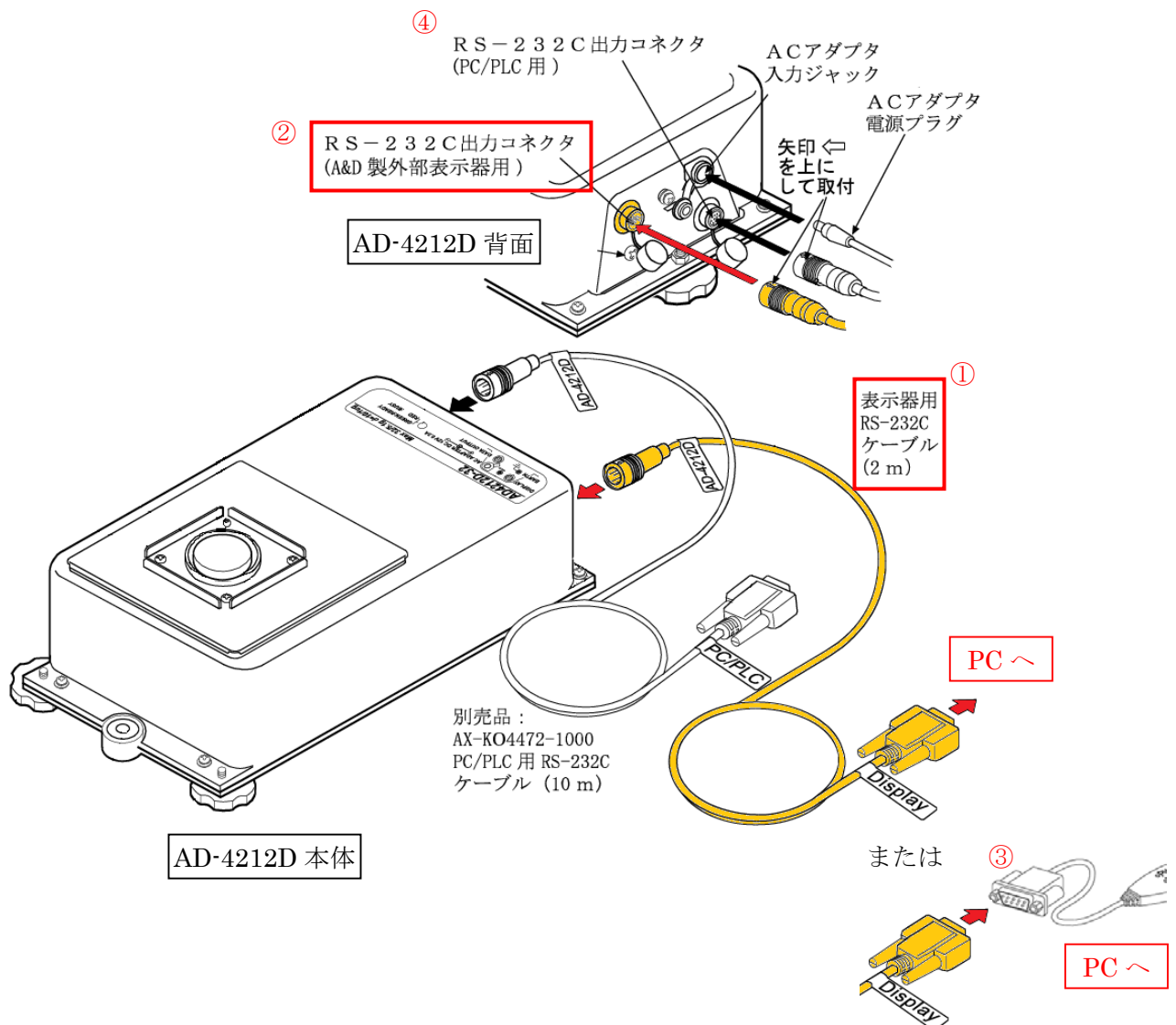
1) PC に RS-232C インタフェースがある場合

AD-4212D シリーズに付属している表示器用 RS-232C ケーブル①を使用して、AD-4212D 本体背面の外部表示器用 RS-232C 出力コネクタ②と、PC の RS-232C インタフェースを接続してください。

2) PC に RS-232C インタフェースがない場合

AD-4212D シリーズに付属している表示器用 RS-232C ケーブル①と、別売品の AX-USB-9P USB コンバータ・ケーブルセット③（ドライバのインストールが必要です）を使用して、天びんの外部表示器出力 RS-232C コネクタと PC の USB インタフェースを接続してください。

注意) PC/PLC 用 RS-232C 出力コネクタ④と PC を接続した場合、本ソフトウェアは正しく動作しません。

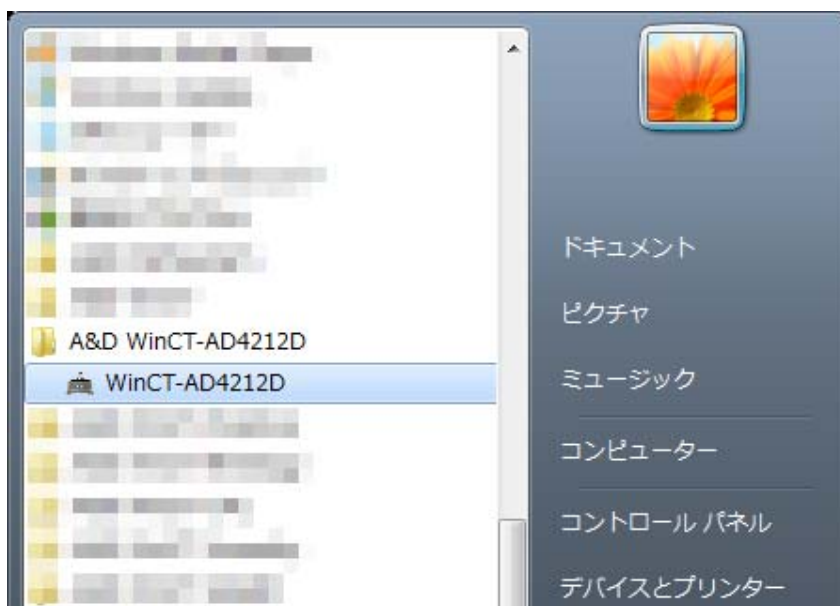


3. 起動方法

3-1. WinCT-AD4212D の起動

PC のスタートメニューで起動します。

「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「A&D WinCT-AD4212D」 → 「WinCT-AD4212D」 の順で起動してください。



* AD-4212D シリーズ以外の天びん、または他社製天びんと接続した場合、本ソフトウェアでの動作は保証いたしません。

4. 操作方法

4-1. 通信設定

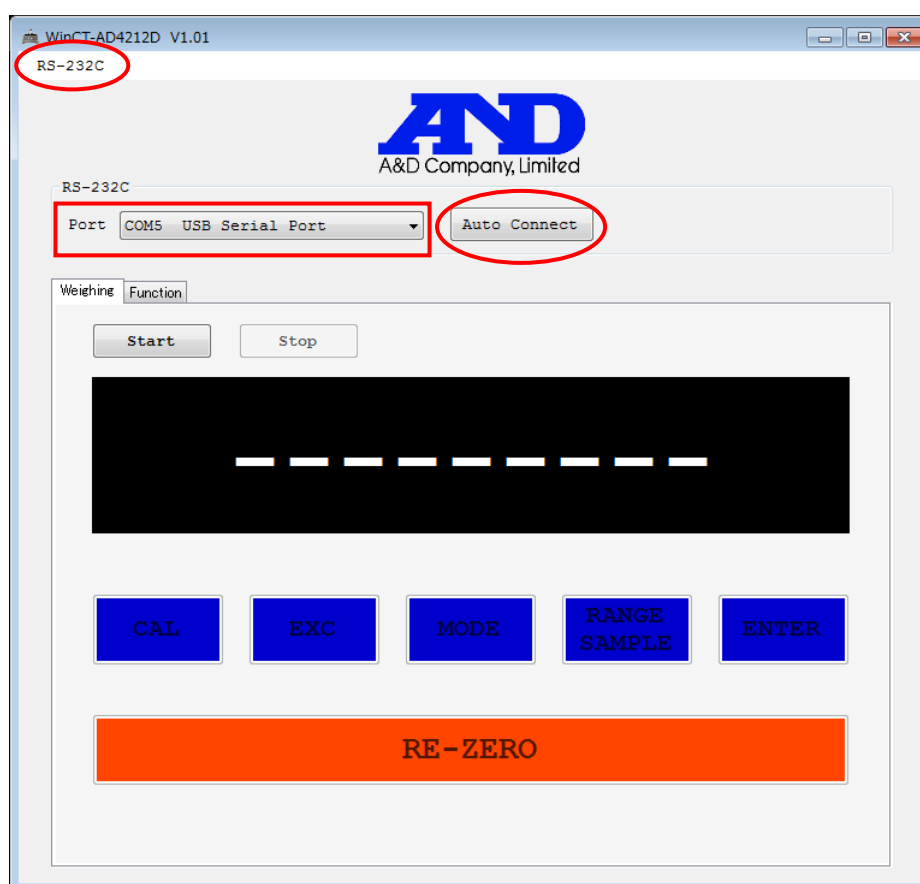
[Port]を選択して天びんと接続する COM ポートを選択してください。

[Auto Connect]ボタンをクリックすることで、自動で RS-232C の通信設定を行います。

完了すると、ダイアログが出ますので、[OK]をクリックしてください。

ウィンドウ上部の[RS-232C]メニューをクリックすることで、手動で通信設定をすることもできます。

(WinCT-AD4212D の通信設定の初期値は、AD-4212D シリーズの出荷時設定と同じです)

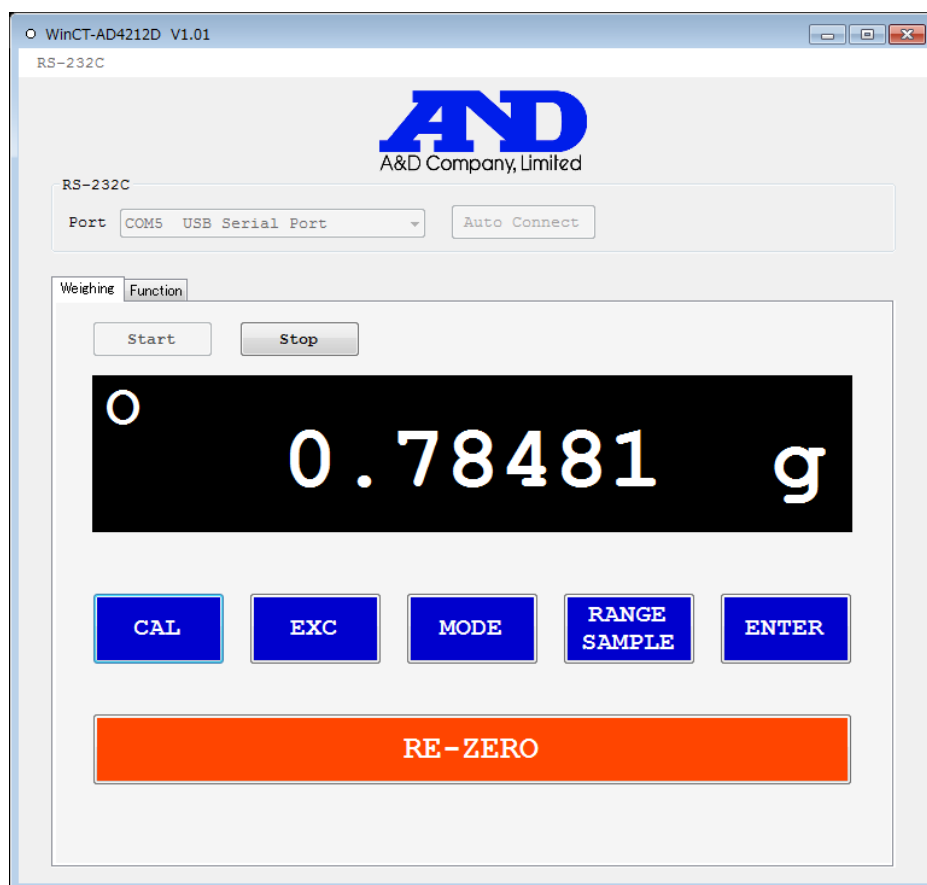


4-2. 計量モードの開始

[Weighing]タブが選択されていることを確認し、[Start]ボタンをクリックします。

天びんとの通信が開始され、計量値が表示されます。天びんを操作する各種ボタンが有効になります。

RS-232Cの通信設定が正しくない場合は、計量値は表示されません。[Stop]ボタンをクリックしてから、[Auto Connect]ボタンをクリックして自動設定する、もしくは[RS-232C]メニューをクリックして手動で設定してください。



4-3. 計量モードの終了

[Stop]ボタンをクリックすると天びんとの通信を終了します。

[Function]タブを選択した場合も天びんとの通信を終了します。

4-4. 内部設定モードの開始

[Function]タブを選択し、[Start]ボタンをクリックします。

天びんから内部設定の情報を受け取るための通信が開始されます。30秒程度の時間がかかります。

正しく受信されると、Model（機種名）、S/N（シリアル番号）、IDが表示され、Function Tableに天びんの内部設定項目が表示されます。

分類項目別にタブが割り当てられ、それぞれの設定項目が表示されます。

4-5. 内部設定の変更

Function Tableに表示されている設定項目を選択して、設定値を希望する値に変更します。

[ID]を変更する場合は直接入力します。

[Undo]をクリックすると、IDと選択した項目が受信した時点の状態に戻ります。

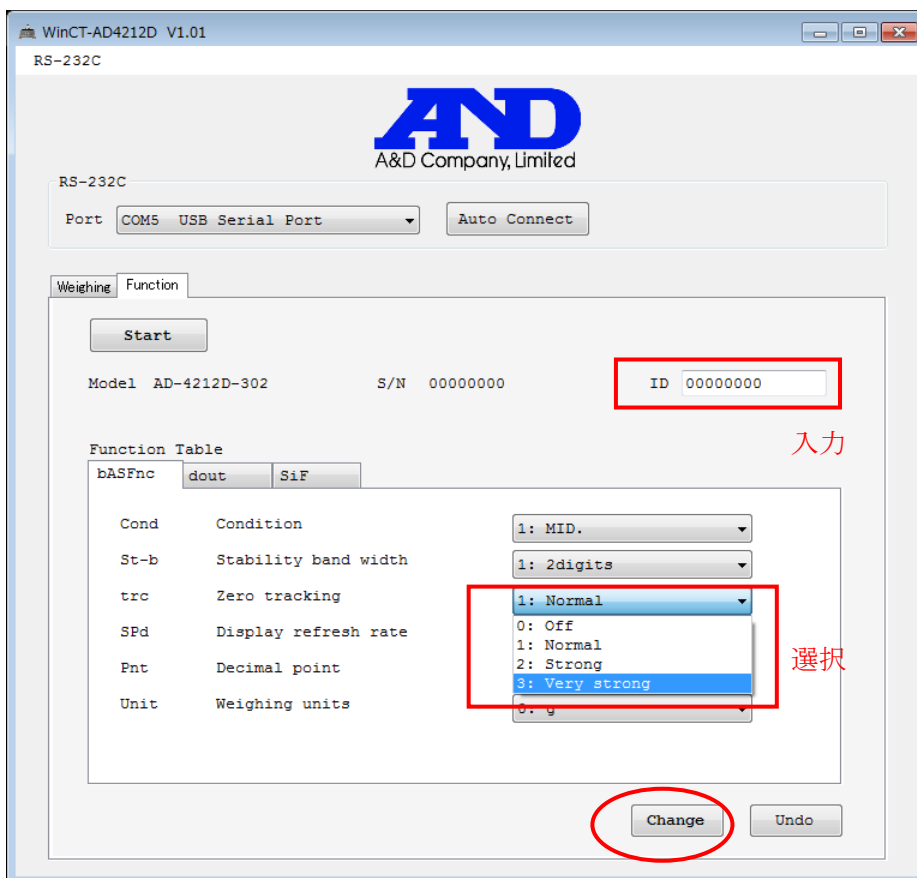
設定値の選択が全て終了したら、[Change]ボタンをクリックします。

確認のダイアログが出ますので、[OK]をクリックします。

天びんに設定データを送るための通信が開始されます。天びんのパイロットランプは橙色に点灯します。

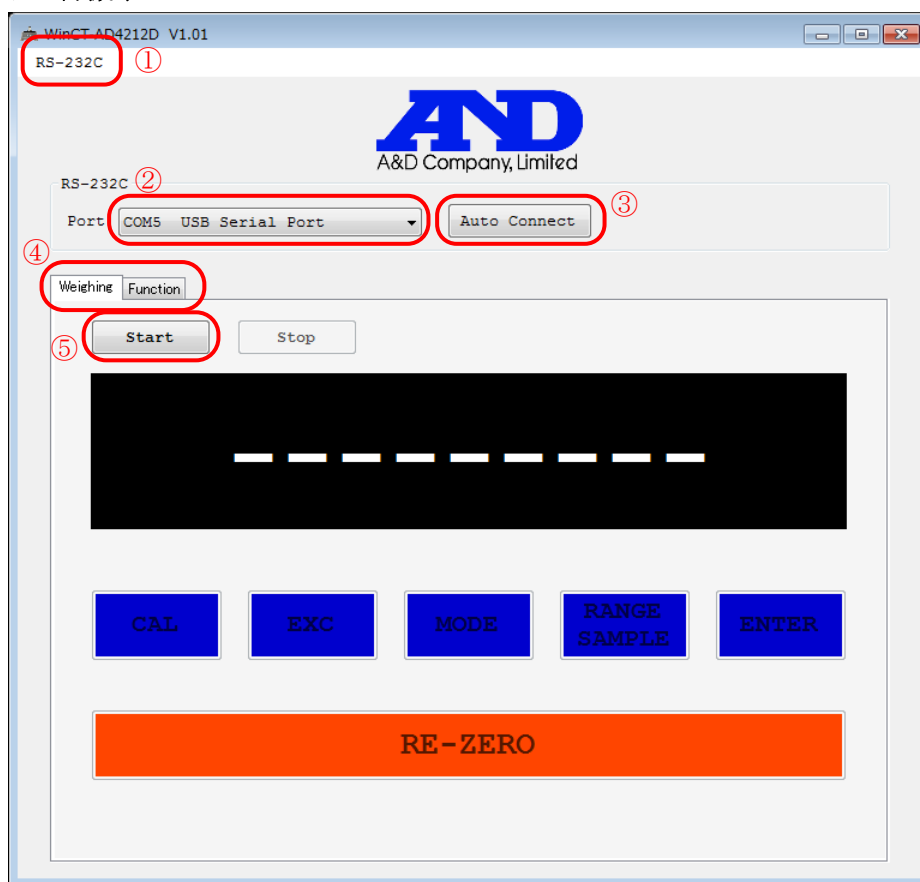
このとき、天びんの電源は切らないでください。

正しく送信されると完了のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。



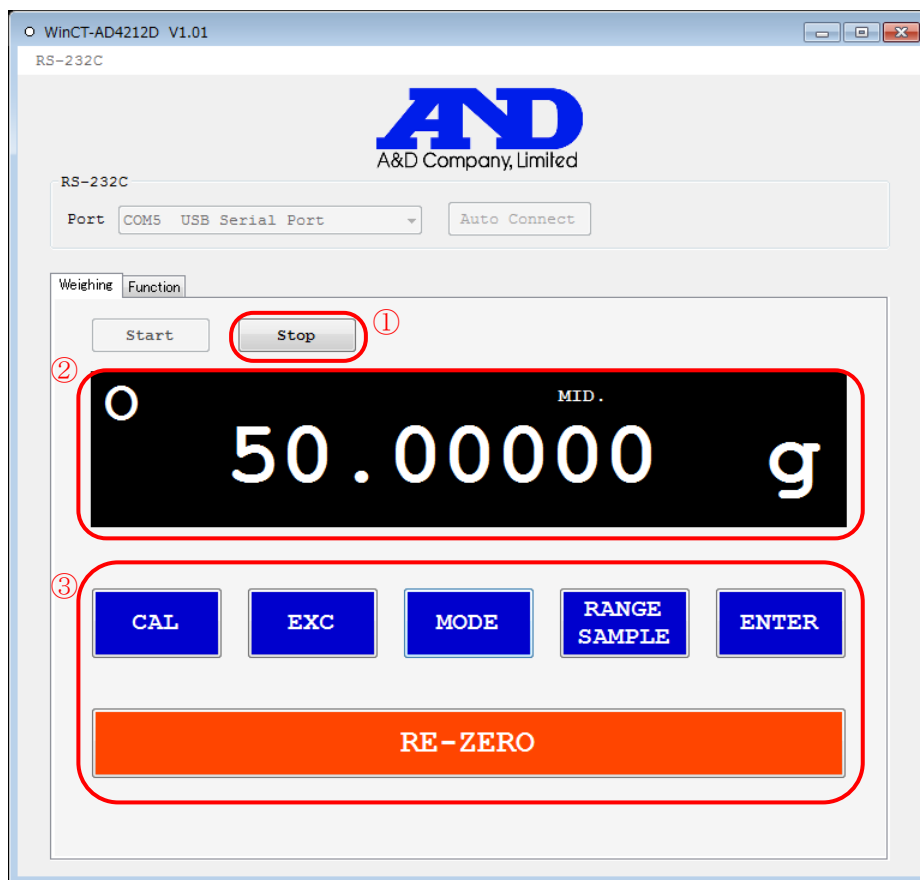
5. 各部の説明

5-1. 計量モード 待機中



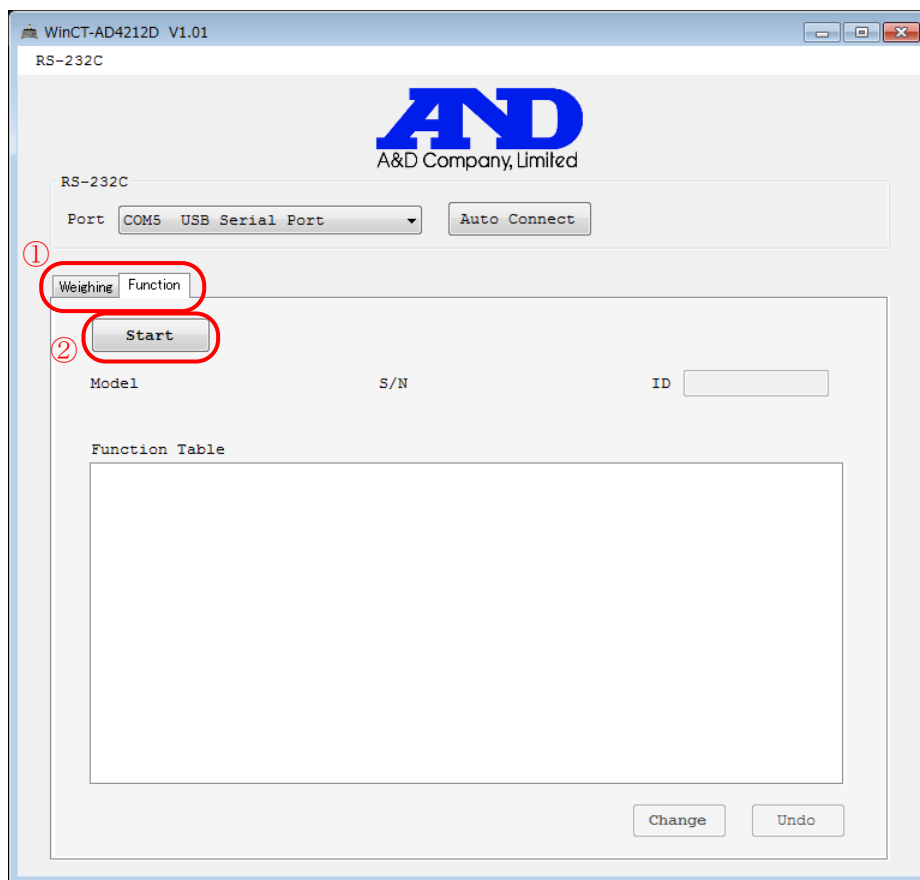
- ① [RS-232C]メニュー ボーレート、パリティビット、データ長の設定を手動で行えます。
- ② [Port]選択 PCのCOMポートを選択します。
PCに存在するCOMポートが表示されます。
- ③ [Auto Connect]ボタン 天びんと通信を行い、ボーレート、パリティビット、データ長の設定を自動で行います。
- ④ [Weighing / Function]タブ 計量モード (Weighing) と内部設定モード (Function) を切替えます。
- ⑤ [Start]ボタン 計量モードを開始します。
AD4212D シリーズのパイロットランプが緑色に点灯 (計量中) している状態でクリックしてください。

5-2. 計量モード 計量中



- ① [Stop]ボタン 天びんとの通信を終了し、待機中表示になります。
- ② 計量表示
計量値 天びんの計量値を表示します。
安定マーク 計量値が安定すると ○ マークが表示されます。
レスポンスマーク 応答特性を FAST MID. SLOW で表示します。
[MODE]ボタンで変更すると表示され、一定時間で消えます。
- ③ 天びん操作ボタン（待機中は操作できません）
- [CAL]ボタン 内蔵分銅によるキャリブレーションを行います。
CAL 表示となります。終了すると計量表示に戻ります。
AD4212D シリーズ取扱説明書「内蔵分銅によるキャリブレーション」参照してください。
- [EXC]ボタン 校正分銅によるキャリブレーションを行います。
AD4212D シリーズ取扱説明書「校正分銅（お手持ちの分銅）によるキャリブレーション」参照してください。
- [MODE]ボタン 応答特性を変更します。
- [RANGE/SAMPLE]ボタン 最小表示桁を切替えます。
- [ENTER]ボタン キャリブレーション時に使用します。
- [RE-ZERO]ボタン 計量表示をゼロにします。

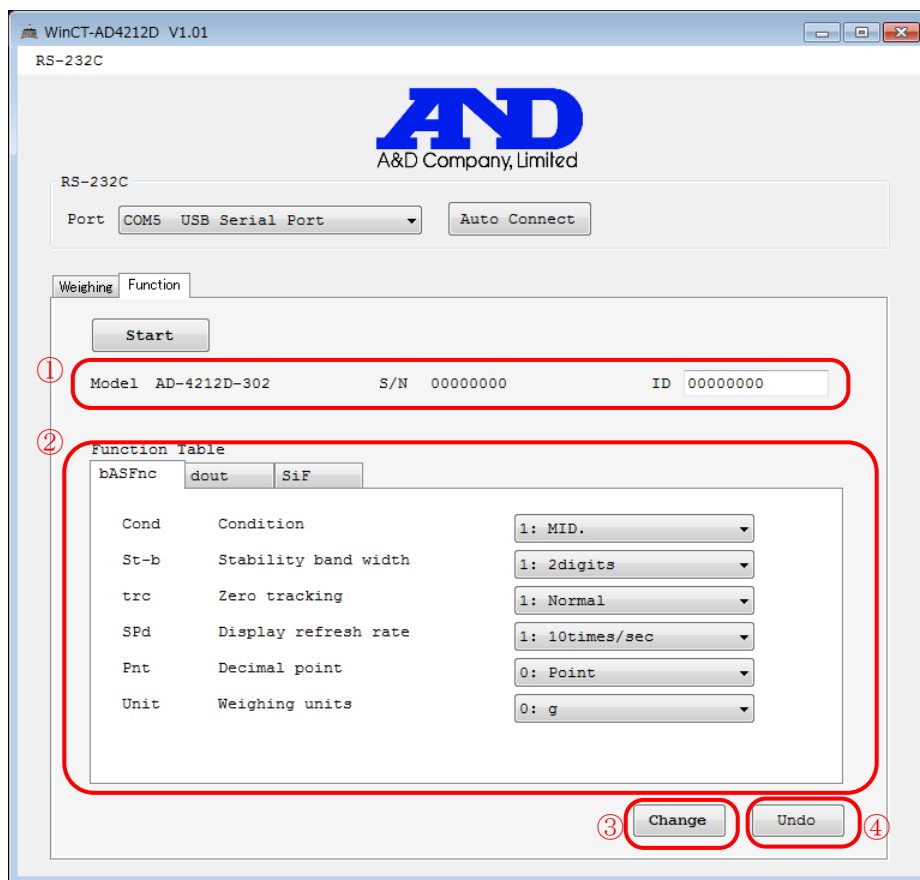
5-3. 内部設定モード データ取得前



- ① [Weighing / Function]タブ 計量モード (Weighing) と内部設定モード (Function) を切替えます。

- ② [Start]ボタン 天びんとの通信を開始し、内部設定の情報を天びんから受信します。受信完了まで 30 秒程度の時間がかかります。受信が完了すると、Model (機種名)、S/N (シリアル番号)、ID と、Function Table 内に内部設定項目が表示されます。

5-4. 内部設定モード データ取得後



① 天びん情報表示

Model

天びんの機種名が表示されます。

S/N

天びんのシリアル番号が表示されます。

ID

天びんの ID が表示されます。

ID を変更する場合は、選択して直接入力します。

② 内部設定表示

内部設定の項目（内容）については、AD-4212D シリーズ取扱説明書「内部設定」参照してください。

タブ

内部設定の分類項目です。

タブ内

左から設定項目、内容、設定値の順番で表示されます。
設定値を変える場合、設定値を選択してください。

③ [Change]ボタン

変更された設定値と ID を天びんに送信します。

④ [Undo]ボタン

変更された ID と設定値をデータ取得時の値に戻します。

Microsoft、Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標
または、商標 です。

2018 年 7 月 4 日

(株) エー・アンド・デイ